

コロイド粒子      colloidal particle (colloid particle)

コロイド粒子は、原子、分子、イオンが集まった直径1-100 nm程度の粒子のこと。主に、金属などの単体、水酸化鉄などの無機化合物、大きな有機分子（タンパク質やデンプンなど）が集まった化合物から成る。このコロイド粒子が液体中に分散しているものをコロイド溶液、あるいは、ゾルといい、液体分子と衝突して不規則に動き（ブラウン運動）、沈殿しにくい性質を持つ。粘土や水酸化鉄のコロイドは、水との親和力が弱い疎水コロイド粒子であり、また、タンパク質やデンプンは、水との親和力が強い親水コロイド粒子である。

（寺西）

(C) 2004 筑波微粒子・界面・環境研究会, All rights reserved